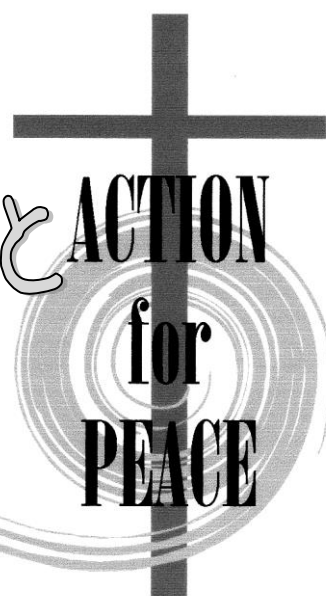


日本バプテスト連盟
憲法改悪を許さない
私たちの共同アクション

わたしたちのひとつこと

2014年1月15日 No.2

さいたま市南区南浦和 1-2-4 日本バプテスト連盟



金子純雄・洋子
大富キリスト教会

戦争放棄を明記した日本国憲法前文の理念と第九条を私たちは一國平和主義のためなどではなく、聖書が示す人類普遍の原理として守り抜かねばなりません。十字架によって平和を実現された主にどこまでも従う者でありたいと思います。

ひとつこと集 No.1 に掲載いたしました、誤植がございました。お詫びして訂正させていただきます

争を指揮しました。後年父は、「戦争で人をたくさんやっつける仕事はえらかった（辛い仕事という意味）」としみじみ言いました。戦争ができるような憲法改悪には反対です。



川内雅代
東八幡キリスト教会

父が戦前の小学校で教師をしていました。教え子を戦争に送った父は、私達に何も語ることはありませんでしたが、勇ましい戦闘服姿の教え子の写真を見る度、父の心の中はどんなにつらかったろうと察します。二度と教え子を戦争に送るような時代が来ない事を祈ります。



本田英一郎
港南めぐみキリスト教会

長崎市で生まれたクリスチャンとして、神と人、国と国、人と人との平和をつくる責務を痛感します。権力にひざまずいて、見ざる、言わざる、聞かざるの無責任が戦争の発端になります。わかれ道に立って、神に聴き、世の動きを良く見、預言者的使命を果したい。



城野俊行
大牟田フレンドシップキリスト教会

世の中は今たいへん物騒になっていると感じます。たくさんの犠牲を出した前の戦争を体験した日本人は、平和国家の礎を築こうとして刻苦勉励してきました。しかし、現実の日本国は今、どのようになっていますでしょうか？戦前のような状態に逆もどりしているように感じられてなりません。



A・Y
バプテスト野方キリスト教会

私の父は、戦前の優等生で祖父の望み通り、陸軍士官学校を卒業して軍人になりました。満州、フィリピン、台湾に出かけて行って戦



杉山修一
山形キリスト教会

人権感覚の危うさと国家主義が結びついて、戦後日本が掲げてきた国民主義、基本的人権の尊重、平和主義を捨てきし、「日本を取り戻す」を合言葉に、戦前回帰のクーデターをもくろんでいるかのような印象を抱く、一連の首相の言動です。国民大衆が気がついた時には、後の祭となりかねない危惧を抱きます。



関 静
中野バプテスト教会

私は今、89歳。青春もなく、戦争時代に一年間を挺身隊員として東京の軍需の工場に奉仕。又帰っても女は家にいることなく会社で働く、こんな戦争を経験し、やっと平和憲法で、今のような日本になったのにその憲法を、いじくりまわすのは止めてもらいたい。絶対許されぬことだ。



大森宗明
ふじみ野バプテスト教会

敗戦時、私は15歳だった。食べるものではなく着るものはボロ。空襲で家は焼かれ、焼け跡に立っていた。戦争は人が人を殺し合うこと。戦争で壱億人の人間が死んだ。無謀な戦争をしない為、私達は戦争をしない最高の憲法を作った。安倍政権は戦争のできる国にしようとしている。私はこの憲法改悪を断固拒否する。



諸橋和江
新潟主の港キリスト教会

戦争とは、人と人が殺しあうこと。衣・食・住がうばわれること。幼児、老人、働けない人の命がまっ先に失われること。憲法改悪運動が高まる前に、秘密保護法案を通してしまった。まだくつがえす事が可能ならやめさせましょう!! 次々と悪法をしかけられ、変えられる前に、目をあけて反対しましょう!!



安永みや子
大牟田フレンドシップキリスト教会

皆様といつまでも仲良く遊ばしましょう。教会皆様と暮らしましょう。イエス様ーキリスト様と皆様と一緒にがんばりましょう。



天野和男・和子
花小金井キリスト教会

私たちが礼拝を守り、捧げることのできるのは、平和憲法によって信仰の自由が保障されているからである。今その土台が揺るぎはじめています。ちちをかえせ、ははをかえせ、人間をかえせ、と叫ぶ詩人の声に耳をふさいではならないのである。主を待ち望むアドベント、主よ来て下さい。アーメン



N・H
防府バプテスト教会

私たちは、主イエス以外を知らない心貧しき者として生きる。私たちは、この生に平和を見出す。



A・S

防府バプテスト教会

ひとりひとりが幸せを願える自由が今の日本にはありません。大切な人や子どもたちを「戦争」という狂気に奪われたいとは思いません。「戦争」という狂気の波にほんろうされる人生は欲しくありません。いつまでも笑顔が溢れる幸せな生活を願える自由を、隣人と愛しあえる自由を持ち続けたいです。



戦中派のおばさん

防府バプテスト教会

平和憲法を護り、平和な世界のお手本になりましょう。戦争の悲劇は二度と起こしてはならない。



山時松江

防府バプテスト教会

しだいに憲法が変えられ、戦争に突入しやすい日本になってゆきます。戦争がいかにかに人々を苦しめるものか、日本がかつてアジアの人々を苦しめたことを忘れないでいきたいものです。平和憲法を死守しましょう。



ミホコ

防府バプテスト教会

人が人でなくなる戦争絶対反対！武器を持つてば戦いを生む。9条が無くなれば歯止めが効かなくなる。だから9条は絶対死守すべき！



たものき
田面木和恵

日立バプテスト教会

日本国憲法。日本の憲法。平和、今、私達の国は平和でしょうか？何故、今憲法を考える時なのでしょうか。私達の足元を見ると不安で一杯になります。ましてこれから生まれて来る子どもたちの事も考えなければなりません。そうです、イエス様のたどった足跡。私達には憲法を守る義務があります。平和の為にも。



五十嵐桂子

日本バプテスト川越キリスト教会

多くの国民の声を無視して、特定秘密保護法が可決されました。何故国会で十分に審議もされず、国民に理解されないまま制定したのでしょうか。民意を軽んじ国の政策に重きを持つ政治は、次に徴兵制度そして戦争へと続くのでしょうか。沖縄戦や特攻隊の深い悲しみはもう沢山です。安倍内閣反対です。



コガワヨシオ・ケイコ

品川バプテスト教会

日本は今、戦争放棄した事を忘れてしまっているとしか思えない。特定秘密保護法案が国会で十分審議したと国民は見たでしょうか。私が小学生時代は戦時中であり毎日ルーズベルト、チャーチル、スターリン、蒋介石の顔写真に向かって竹やりで連日猛特訓でした。もう二度と近隣諸国と戦争をしてはなりません。



M・Y

防府バプテスト教会

平和とは、愛し合うところから生まれるのだと思います。豊かに実った愛で互いに心から愛し合う姿だと信じます。愛に勝る言葉は、この神さまが造られた世界にないのだと思います。



T・O

防府バプテスト教会

憲法改悪、反対いたします。



國分美知子

防府バプテスト教会

特定秘密保護法の成立や集団的自衛権の発動の考え方、原発輸出などの政府の動きを見ていると、「戦争のできる国」をつくろうとしている危険性を感じます。憲法を改悪させてはなりません。戦争の放棄、戦力及び交戦権を否認する憲法9条を守り抜きましょう!「剣を取る者は、皆剣で滅びる」のですから。



黒木 聡

高鍋伝道所

日本国憲法は、何としても守り抜かねばと、強く思います。



三宅陽子

若松バプテスト教会

教育を守るために何を起点に考えていくかと、もう一度考えてみると、それはやはり憲法の本質です。26条の教育を受ける権利、25条の生存権、13条の幸福追求

権。これらを実現し、9条の平和な社会を築くために、その基礎を教育の中で踏み固める。そのために、もう一度、憲法に立ち戻りましょう。



宮本三枝子

渋谷バプテスト教会

「憲法9条」は、過去の反省から生まれた不戦をつらぬく唯一世界に示す日本の誇りです。絶対守らなければならない人類の“宝”でもあります。安倍政権は、この憲法を変えて国防軍をつくり、戦争参加を可能にしようとする時代の流れに逆行するような暴挙を企てています。許してはなりません。一人一人が声を大にして訴えていきましょう!



吉高美籠

別府国際バプテスト教会

昨年の選挙で投票した国民は30%。その中の過半数で現政権を握り、まるで国民多数の支持を得ているかのような強行姿勢。今私は、「語りつごうあの日あの頃、戦争を伝える朗読会編集」を読んでいるが、戦争の真実を知る程に怒りが込み上げて来ると同時に、今の政権とダブッてくる。もう、無関心でいられない。

◎あなたのひとことをお寄せください。教会に送付してありますはがきをご利用ください。ホームページからも用紙をダウンロードいただけます。

Eメール：hitokoto@bapren.jpでもお受けいたします。

